

つくる「えんたのれんこん推進会議」は、同市大津町段関のレンコン田で生物観察などを行う催しを開いた＝写真。



市内外から親子連れら約50人が参加。同会議の斎藤繁明会長のレンコン田（約1畝）で、子どもたちは泥だ

らけになりながら網でオタマジャクシをすくったり、アメンボを捕まえたり

して歓声を上げた。

子どもたちは、専用の農具で用水路の藻を切ったり、泥をすくったりする伝統的な農作業に挑戦したほか、藍やカヤを使った草木染めなども楽しんだ。

（萬木竜一郎）

## レンコン田で生物観察

鳴門市内のレンコン生産農家などで